

令和6年度 延岡工業高等学校 学校評価

令和7年3月18日

1 学校経営方針

- 1 社会的・職業的に自立し、自ら学び続け、他者と協力し、生き抜く力を身につけた生徒の育成をめざし、学力および体力の向上、キャリア教育および専門教育の充実に向けた教育を推進する。
- 2 工都延岡の発展に寄与していくために、地域と連携した教育を推進する。

2 学校教育目標

- 工業や生活産業工業や生活産業の各分野における知識や技術を身につけさせ、地域や社会の発展に貢献できる人材を育成する。
- 資格取得や体験的な学習活動等を通して、確かな専門力と実践力を育成する。
- 立志・勉勵・創造の精神や職業人として必要な豊かな人間性を育成する。
- 主体的に考え責任をもって行動し、変化の激しい社会を粘り強く生き抜く力を育成する。
- 部活動や生徒会活動、ボランティア活動等を通して、多様性を受け入れ他者と協働できる力を育成する。

3 学校目標（基本方針）

4段階評価（4：期待以上、3：ほぼ期待どおり、2：やや期待を下回る、1：改善を要する）

学校目標(基本方針)	手 段	ゴールイメージ	学校自己評価		学校関係者評価	
普通教科および専門教科指導の充実	①授業公開を積極的に行い、ICTを活用した授業実践や指導教材の改善・共有を推進する。 ②基礎力診断テストや自動採点システム・観点別評価法など学力を客観的に把握することで生徒の個々の野力を分析し「個別最適な学び」の充実と授業改善に取り組む。 ③ジュニアマイスター優秀校受賞に向けた資格・検定指導を推進する。	社会人として必要な基礎学力を身につけている。	2.9	2.9	3.0	3.0
		思考力・判断力・表現力を含めた確かな学力を身につけている。	2.5		2.4	
		資格試験や検定試験に挑戦し合格する。	3.5		3.6	
		主体的に学ぶ生徒が増加し学校の価値が更に高まる。	2.8		2.6	
キャリア教育の推進および課題解決能力の伸長	①ICTとキャリアパスポート・進路情報を連動させることで、情報活用能力の育成と発達段階に応じた効果的支援を行う。 ②専門教育の仕上げとして、生徒が主体的に課題研究に取り組めるよう支援を行う。	高い職業意識を有し、社会人としての資質を身につけている。	3.5	3.0	3.2	3.2
		主体的に課題を解決する力を身につけている。	2.5		2.8	
部活動および生徒会活動の振興	①部活動数の適正化を図り、加入率を高めると同時に未活動者や退部者数の減少に努める。 ②指導者研修や先進校視察などを行い、教員の指導力向上と部活動の活性化を図る。 ③生徒会を活性化し、能動的な委員会活動に取り組む。	心技体のバランスとれたたくましさを身につけている。	3.2	3.1	3.0	2.8
		主体性・多様性・協働性を身につけている。	2.9		2.8	
		活動を通して学校への帰属意識を高め、充実感を得る。	3.2		3.4	
地域と連携した教育の推進	①マイスターハイスクールを継続し、更に地域との連携を推し進め、人材の育成を図る。 ②生徒、保護者、教員を対象とした地元企業説明会を実施し、地元企業理解に取り組む。 ③SPS認証校として、地域と連携し、様々な条件下を想定した訓練に取り組む。	マイスターハイスクールシステムを構築できている。	3.4	3.5	2.8	3.0
		地元の魅力ある企業や優れた人材に対する知見が深まる。	3.7		3.2	
		地域貢献に対する志が醸成される。	3.3		3.0	
		日頃から防災・減災に対する高い意識を持ち、生活できる。	3.6		2.8	
働き方改革の推進	①行事や校務の見直しを進め、効率的な運営を目指す。 ②ICTを活用した出退勤・出張等に関する業務改善を推進する。 ③フレックスタイム制度を活用し、働き方改革に対する意識を高める。	業務分担が明確になり、職員間の信頼関係が強化される。	2.8	2.7	2.8	2.8
		時間に余裕ができることで、生徒と接する時間も増え、信頼関係が構築できる。	2.5		3.0	